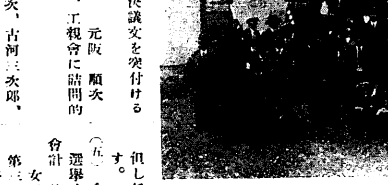
製綱勞働組合 第五回大會記錄

日時　十月三十一日午前九時
場所　小倉市公會堂
出席代議員（川崎支部）鈴木彌作、榎本福松、瀧田廣吉、鈴木留重、川村要之助、佐々木直義、峰岸美男吉
（兵庫支部）中川寛、荊田美正
（小倉支部）伊藤人實、勝野滿
鷗井春治、森岡民藏、吉河三次郎、野口爲三、中村嘉市、相良正義、岡田英次
（泉南支部）東口安太郎
（本部員）三木治郎、磯山兵五郎、大川梅三郎、久保田數三、椎木重太郎、德田吉松、藤山與三吉、元阪順次
三木主事
總同盟歌合唱
開會之辭
代議員歡迎之辭　德田吉松
（小倉）榎本福松
（川崎）齋藤勇
右答辭
書記任命　書記長　勝野滿
書記　同　岡田英治
各種委員任命（○印委員長）
資格審査委員
○野口爲三、榎本福松、荊田美正
議事委員
○川村要之助、藤山與三吉、相良正義、東口安太郎
法規委員
○德田吉松、峰岸美男吉、荊田美正
會計審査委員
○中川寛、鈴木彌作、伊藤人實、椎木重太郎、藤山與三吉、元阪順次
議長選擧
議長　三木治郎
副議長　磯山兵五郎
議長挨拶
祝電朗讀
大阪聯合會、染色勞働組合、大阪金屬勞働組合、陶業勞働組合、製綱川崎支部、セメント勞働川崎支部、神奈川鐵工組合、下關運輸勞働組合、神奈川合同勞働組合、兵庫縣聯合會、製綱兵庫支部、總同盟本部、下關海友同志會
祝辭朗讀　官業勞働同志會石橋和一、勞働組合共同研究會工藤守、社民黨小倉支部谷義知、總同盟九州聯合會伊藤卯四郎
資格審査委員會報告
委員長　野口爲三
出席代議員
川崎支部十人、小倉支部十一名、兵庫支部三名、泉南支部一名、本部員三名
計　二十七名
右報告滿場一致承認
齋藤常任書記
一般報告
各支部情勢報告
川崎支部　磯山兵五郎
小倉支部　吉河三次郎
兵庫支部　藤山與三吉
泉南支部　元阪順次
大川梅三郎
會計報告　可決
教育部報告　久保田數三
久保田數三



第五回組合大會代議員
（小倉市公會堂）會前場

案數十一
以上報告滿場一致承認
議事
一、失業保險制定に關する件
兵庫支部　說明　荊田美正
實行方法　本部一任　可決
二、勞働組合法反對資本家組彈に關する件
本部　說明　久保田數三
實行方法
一、演說會開催　二、反對資本家詰問　三、議會中にデモンストレーション決行　四、總同盟大會提出
同盟大會提出　古河三次郎
贊成意見
山兵五郎、藤山與三吉、元阪順次
議長選擧
議長　三木治郎
副議長　磯山兵五郎
議長挨拶
祝電朗讀
大阪聯合會、染色勞働組合、大阪金屬勞働組合、陶業勞働組合、製綱川崎支部、セメント勞働川崎支部、神奈川鐵工組合、下關運輸勞働組合、神奈川合同勞働組合、兵庫縣聯合會、製綱兵庫支部、總同盟本部、下關海友同志會
祝辭朗讀　官業勞働同志會石橋和一、勞働組合共同研究會工藤守、社民黨小倉支部谷義知、總同盟九州聯合會伊藤卯四郎
資格審査委員會報告
委員長　野口爲三
出席代議員
川崎支部十人、小倉支部十一名、兵庫支部三名、泉南支部一名、本部員三名
計　二十七名
右報告滿場一致承認
齋藤常任書記
一般報告
各支部情勢報告
川崎支部　磯山兵五郎
小倉支部　吉河三次郎
兵庫支部　藤山與三吉
泉南支部　元阪順次
大川梅三郎
會計報告　可決
教育部報告　久保田數三
久保田數三
五、職業紹介所組彈決議案
泉南支部　說明　元阪順次
決議文　可決
法規委員會報告
委員長　德田吉松
改正要點
機關　○大會の議長は組合長之に任じ議事は出席代議員の過半數を以つて決す、可否同數なる時は、議長之を決す。
但し、出席代議員五分一以上の要求ある時は、議長は會議完納者一人に就き一票の割合を以つて投票せしむるものとす。
○大會代議員は、總同盟大會代議員選出規定數により決出す。
第三十二條　代議員數は本部員三名、小倉支部三名、兵庫支部三名、泉南支部一名、本部員三名
計　十二名
（二）の但書前除
（三）執行委員會は原則として各支部總會に於て選擧す。
第三十三條　各支部長副支部長、會計の中より順位之を選出推薦し、大會の承認を得るものとす。
（五）會計監査役は、大會に於て選擧す。
會計　第三十三條　男子二十四錢
女子十二錢
第三十四條　男子二十四錢、女子十八錢　附則　本規約は昭和五年十月三十一日より之を實行す。
工視會に對し決議文を突付けること　元阪順次
贊成意見
委員を擧げて、工視會に諮問的訪問を行へ
委員議長指名
委員　元阪順次、吉河三次郎、久保田數三
決議　可決
（五）會計監査役は、大會に於て選擧す。
會計　第三十三條　男子二十四錢
女子十二錢
第三十四條　男子二十四錢、女子十八錢　附則　本規約は昭和五年十月三十一日より之を實行す。
六、機械器具考案改良奬勵に關する件　川崎支部　說明　榎本福松
實行方法、德定委員會提出可決
八、金融部設置に關する件　說明　德田吉松
本部に金融部を設置し、信用組合の如き事業を行はしむること
實行方法　本部一任　可決
九、機械器具考案改良奬勵に關する件　川村要之助
提案員にして、機械器具を考案改良奬勵に關する者に對して會社は之を表彰する。
實行方法、協定委員會提出可決
○、政黨々費支持團體費任支出
提唱に關する件　說明　岡田英治
小倉支部　說明　榎本福松
社民黨費として總同盟本部は、組合員一名に就き一錢宛を徴集し、從來の黨費を廢止すべし　可決
實行方法　本部一任
一一、川崎支部　說明　峯岸美雄吉
實行方法　各支部は失業防止の爲め努力すること
會計審査委員會報告　委員長　中川寛
承認
豫算委員會報告　委員長　鈴木一三
基金一、（一）セメント、大會費一三、（二）協定委員會費、宣傳費三〇、人件費、四、事務費一三、出版費八、雜費四
役員選衝委員會報告　委員長　椎木重太郎
承認
主事　三木治郎
會計　藤井秀次
會計監査　中川寛、柿本增太郎、荒岡大八、田中時太郎、君波新一郎
執行委員　中村益二、磯山兵五郎、大川梅三郎、藤山與三吉、元阪順次
理事　（小倉）椎木重太郎、德田吉松、伊藤人實、相良正義、野口爲三、中川寛、藤山與三吉、荊田美正
（川崎）鈴木富重、川村要之助、小林藤太郎、榎本福松
役員代表挨拶　三木主事
閉會之辭　三木議長

（二頁下段より）
法主任一隊十數名引率して我等の行進に不當の壓迫を爲すに依り、遂に殴る蹴る檢束、帶劍は曲る帽章は飛ぶ、眼は破れる組合旗の活動に戰端は開始され、双方四名の傷者を出したるに當局取締は厳に厳を加へ、遂に警官隊の出動となる。製綱勞働組合全力を挙げての戰び其氣分に朝日の交見迄は實に感激したのである。ピケッテンに夜襲に家庭訪問に交見會演說會電車政策新聞廣告不正事件摘發旅館政策等々、尖端的近戰術と科學的調査機關を總用して、さすがに國賊とも云ふ事役連も暗易して、遂に委員貨物列車に隠し或は旅館に休足等々の探偵の智慧並べをするかの感がある。半面爭議は愈々深刻化するも中村、田崎両會社代表は頑として解決を拒み、遂に十一月廿日迄、豫定を變更して（九日は日曜のため休會）十日更に豫備會議を續行したるも、更に全體的解決を見ず、遂に十一月廿一日迄、豫備會議を經續するの止むなきに至つた。此の間會社、組合双方別室の協議を開くこと六回、特別委員會一回、議事の展開を圖り